

# 考えよう エネルギー、地域、県民の未来

県内では、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に取り組む企業や団体が増えてきました。昨年、県が創設した「秋田県SDGsパートナー登録制度」に名を連ねる3者が、エネルギー供給や地域づくり、人材育成について意見を交わし、本県の実情に即したSDGsの在り方を探りました。鼎談に参加したのは、大曲南中学校(大仙市)の島田智校長、ABS秋田放送(秋田市)の佐藤有希アナウンサー、東北電力秋田支店(同市)の小笠原孝史支店長。

## できることから行動 島田氏

**3者の活動**  
小笠原 東北電力グループは、地球温暖化への対応を経営の重要課題の一つと位置付けています。2021年3月には「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を策定しました。30年度の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を13年度実績の半分に減らすことを目指して、再生可能エネルギーと原子力を最大限に活用することと火力発電の脱炭素化を進めること、電化を進めスマート社会を実現すること、を三つの柱としています。

島田 大曲南中学校は、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に取り組む企業や団体が増えてきました。昨年、県が創設した「秋田県SDGsパートナー登録制度」に名を連ねる3者が、エネルギー供給や地域づくり、人材育成について意見を交わし、本県の実情に即したSDGsの在り方を探りました。鼎談に参加したのは、大曲南中学校(大仙市)の島田智校長、ABS秋田放送(秋田市)の佐藤有希アナウンサー、東北電力秋田支店(同市)の小笠原孝史支店長。

## 豊富な再生エネ生かす 小笠原氏

**機運醸成**  
小笠原 本県は風力水力、地熱などの資源が豊富で、再生エネ導入拡大を進める当社にとって重要な地域です。グループ会社「東北自然エネルギー」は昨年、再生可能エネルギーの建て替え事業を実施し、湯沢市では、大地地熱発電所(仮称)の建設に向けて準備を進めています。

島田 学校も、秋田ならではのSDGsに取り組む必要があり、秋田ならではのSDGsを実現するための人材育成と位置づけられ、学習指導要領にも「持続可能な社会の創り手の育成」が明記されました。ただ、学校の教員は、学習の進め方に悩んでいます。私自身が受けた時は「17の目標をベースに、学習内容を整理してよりよい教育を目指す」「カリキュラム・マネジメント」を実践すると面白いと、先人が実践してきたことに学びたいと思います。

# SDGsで秋田を変える

## 地域づくり

佐藤 「持続可能な地域づくり」は、地域メディアが積極的に取り組むべき課題です。少子高齢化などの地域課題を嘆くのではなく、ポジティブに見直すことを大切にしたいですね。情報発信力を生かして、SDGsに関する機運を作りたいです。

小笠原 当社は06年度から地域課題解決に取り組む団体をサポートする「まちづくり元氣塾」を実施。本年度は藤里町のNPO法人「ふじ」と元氣塾と共に、「地域課題×デジタルイノベーション」をテーマに活動しています。空き家を活用した活動拠点施設の整備や里山体験プログラ

## 知って、学んで、考える 佐藤氏

## 人材育成

島田 学校は「持続可能な社会を創る人材」を育てる重要な任務を担っています。「SDGsを知る」ことだけでなく、自ら学ぶようになります。

佐藤 SDGsは知って学んで、学んで、考える。子どもたちが、自分ごととして考えることから始まります。紛争や貧困、自然災害などは世界にわたって起こっています。テレビや新聞のニュースを見て知って、行動に移して欲しい。私たちは人の心に届く情報を、今後発信していきます。

## 今後の展望

島田 SDGs達成のキーワードは「未来の自分を考える」だとも思っています。子どもも大人にも、10年後、20年後に「みんながウェルビーイング(幸福)を暮らし、未来を想像してもらいたい。そのために今何ができるのかを考えて行動することが大切です。

小笠原 東北電力は昨年、70周年を迎えました。大切にしていきたいのは経営理念の「地球社会との共生」であり、「東北の繁栄なしに当社の発展なし」という基本的な考えです。秋田の持続的発展と共に、当社も成長していきたい。10年、100年先を目標として、地域課題について皆さんと一緒に考え、行動していきます。



本県ならではのSDGsについて意見を交わした参加者＝秋田市

## 東北電力の挑戦

- ★グループ会社とともに「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を策定
- ・2030年度のCO<sub>2</sub>排出量を13年度の半分に減らす
- ・東北6県と新潟県を中心に風力発電などの再生エネ計200万kwを導入
- ・電化とスマート社会の実現



おがさわら・たかふみ 1960年秋田市生まれ。86年東北電力入社。送配電カンパニーネットワーク総務部長、東北電力ネットワーク執行役員総務部長を経て、2021年4月執行役員秋田支店長、食品ロス削減・ごみ減量を実現中。

〈企画・制作〉秋田魁新報社営業局

## 大曲南中のESD

- ★ユネスコスクール加盟校(2010年から)
- ・エネルギーや食に関わる環境教育の実践
- ・国際交流
- ・地域活動への参加



しまだ・さとる 1964年大仙市生まれ。大仙市教育委員会次長兼教育指導課長を経て、2021年4月から現職。母校の大曲南中からは教諭、校長として通算8年勤務。プラグインハイブリッド車で通勤している。



## ABS秋田放送のSDGs

- ★国連のSDGメディアコンパクトに加盟(2021年から)
- ・SDGsの普及推進
- ・地域課題を見つめ直す番組づくり
- ・誰もが働きやすい職場づくり



さとう・ゆき 1984年岩手県大船渡市生まれ。県外の放送局のアナウンサーを経て、2013年秋田放送に入社。生産地の環境や人権に配慮した「フェアトレード商品」の購入を心掛けている。

## 鼎談に臨んだ3者が参加する「県SDGsパートナー登録制度」は、SDGsの達成に向けた企業・団体の取り組みを広く周知するため、2021年9月に県が創設し、現在、455社が登録しています。制度の推進を担う小野正則・あきた未来創造部長にメッセージを寄せてもらいました。



AKITA SDGs

## 活動推進へ官民一体

県は、SDGsの共通理念である「誰一人取り残さない」社会を推進しています。「持続可能な豊かな秋田」を未来につなぐため、官民一体となって取り組んでいます。

東北電力と秋田放送、大曲南中学校はSDGsの推進に積極的で、大変心強く感じています。3者が共通して取り組む「環境保全」「持続可能な地域づくり」「秋田の将来を担う子どもたちへの教育活動」は、それぞれの得意分野が大いに生かされ、まさに本県が目指す「みんなで手を取り合い、豊かな秋田を未来につなぐ」ことに結びつく重要なポイントとなります。

中でも大切なのは、一人一人が「SDGsは自分ごと」という認識をもち、今ある秋田の良さを生かしつつ、身近なことから取り組みを継続することです。この取り組みが、県民一人一人の意識醸成や活動に波及し、持続可能な好循環を生み出していくことを期待しています。

## 秋田が好きだから

私たち東北電力は、1951年の創立以来、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という考えのもと、地域とともに歩んでまいりました。これからも秋田の皆さまとの信頼を築きながら、未来の子どもたちの笑顔を守り続けていけるよう、あなたの「より、そう、ちから。」になります。

## まちづくり元氣塾



地域が直面する課題解決に取り組む団体に「まちづくりパートナー」を派遣し、個性あふれるまちづくりをサポートしております。

## 中学生作文コンクール



次代を担う中学生の皆さんに、心豊かに成長していただきたいという願いを込め、1975年から毎年開催しております。

## 東北・新潟の活性化応援プログラム



地域産業の振興や地域コミュニティの再生、活性化、交流人口の拡大など、地域の課題解決に向けて自主的な活動を行っている団体を助成金によりサポートしております。

## エネルギー出前講座



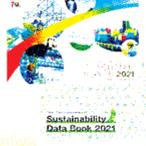
小中学校などを訪問し、エネルギー・環境教育の支援を行っています。

持続可能な秋田・社会を目指して



当社は、気候変動問題、自然災害の激甚化、人口減少、少子高齢化や人権問題など、顕在化している持続可能性(サステナビリティ)に係るさまざまな社会課題の解決に取り組んでまいります。

東北電力秋田支店は「秋田県SDGsパートナー」です。



東北電力の持続可能な社会を目指す活動は「東北電力グループ統合報告書2021」および「東北電力グループサステナビリティデータブック2021」でも紹介しております。

上記の資料は、こちらの二次元コードを読み込むことでご覧いただけます。



より、そう、ちから。

東北電力 秋田支店

